

平成 23 年度第 1 回備前市歴史文化基本構想策定委員会 議事録

日 時	平成 23 年 7 月 24 日 (日) 13:00~14:00
会 場	備前焼伝統産業会館 3 階 総合研修室
出席者	備前市歴史文化基本構想策定委員会 上西節雄 委員長 岡本知恵子 副委員長 倉地克直 委員 狩山俊吾 委員 岩崎充宏 委員 オブザーバーの方々 備前市教育委員会事務局
事務局	これより平成 23 年度第 1 回備前市歴史文化基本構想策定委員会を開催いたします。開会にあたりまして、竹中史朗教育次長がごあいさつ申し上げます。
竹中次長	みなさん、こんにちは。本日教育長が所要で欠席しておりますので、かわりまして私のほうからあいさつをさせていただきます。本日は、「第 1 回備前市歴史文化基本構想策定委員会」を開催いたしましたところ、委員の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらずご出席いただき誠にありがとうございます。また、文化財保護審議会委員をはじめ地元関係団体や市民の方々もオブザーバーとして多数ご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。 さて、「備前市歴史文化基本構想」ですが、「なにやら役所言葉で小難しいイメージ」をお持ちの方々が、多数ではないかと推察されます。簡単に申しますと、こちらのパンフレットにもありますように従来、文化財というと、どここの建物が国宝であるとか、この遺跡は国の指定史跡であるとか、単体でとらえてきました。それだけではなく、文化財はそれが置かれた環境の中で、人々と関わりながら伝統的な意義や価値を形成してきた側面があります。文化財を地域全体で継承していくためには、このような側面を重視し、人々に地域の歴史や文化を伝えるものとして、魅力的なかたちでわかりやすくその価値を伝えていくことが必要と考えています。 また、国・県・市で指定された文化財だけでなく、地域にある文化財をそれが形成された自然や背景も含めて「街のタカラ」として、参加されている方々とともに「発見して、地域を語るストーリー」の素材として捉えていけたらと思っております。備前市の教育委員会では、24 年度までの 2 か年をかけてこの構想を策定しようと計画しております。委員の先生方をはじめ多くの方々の意見をいただきながら、さらには本日 2 時から開催する「ワークショップ」のかたちで実際に市内各所を歩きながら、進めてまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます、開会のご挨拶いたします。よろしく申し上げます。 【各委員への委嘱状の交付】
事務局	続きまして、委員の先生方から自己紹介をお願いします。それでは名簿に従いまして、上西委員よりお願いいたします。
上西委員	失礼いたします。わたくし、定年退職後、4 年目に入っておりますが、現在、岡山にあります吉兆庵美術館の顧問と、週 1 回ですが倉敷芸術科学大学で陶芸史を教えています。それ以外の日は野菜作りに精をだしております。よろしくお願ひいたし

岡本委員	<p>ます。</p> <p>失礼いたします。岡本知恵子と申します。備前市吉永町に住んでおりまして、一市民です。市民代表という言葉がついておりまして、困ったことになったなと思っておるところです。今、退職5年目になりまして、その前は小学校に勤めておりました。そういう視点で、この基本構想に関わっていけたら、いけるかなあとと思って、いけたらいいなと思っているところです。よろしくお願いいたします。</p>
倉地委員	<p>倉地と申します。そこに岡山大学社会文化科学研究科と書いてありますが、何をしているのかよくわかりませんが、学部は文学部というところで、日本史の勉強をしています。備前市とは閑谷学校の関係でいくつか仕事をさせていただいておりますので、そういうご縁でこういうことになったように思います。あまりよくわかっておらないところが、たくさんあります、よろしくお願いいたします。</p>
狩山委員	<p>失礼します。倉敷市立自然史博物館の植物担当の学芸員をしています狩山といいます。今週というか、こないだの火曜日まで北海道へ行って知床の自然を楽しんできました。遠くの町の自然や歴史もよいのですが、備前市も地元でありながらなかなか歩く機会がないので、この機会に歩いてみたいなと思っています。で、私の役割としては文化財そのものではなく、文化財をとりまくまわりの自然環境、そのあたりを中心にみさせていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。</p>
岩崎委員	<p>山陽新聞文化部で記者をしています岩崎と申します。お世話になります。私は文化部で歴史の分野、文化財の分野、ま、そのほかのことを取材してきました。備前市さんにも以前備前焼や歴史の関係でお世話になってきました。今回は、主にそういう歴史の研究や行政の現場と地域のみなさんをつなぐ役割をしてきたことから、そういう立場から、何か得ることがもしあればということで、来させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして事務局のほうを自己紹介させていただきます。</p> <p>教育次長 竹中央朗 生涯学習課長 末長章彦 生涯学習課文化係 重根弘和 生涯学習課文化係 山本久美子 生涯学習課文化係 石井啓（司会）</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>【正副委員長の選出】</p> <p>それでは日程に従いまして、(4)の正副委員長の選出になります。正副委員長の選出であります、お手元の資料2頁、「備前市歴史文化基本構想策定委員会条例</p>

	<p>第4条」、委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める、という風になっております。委員の先生方、互選でお願いいたします。いかがでしょうか。もしございませんでしたら、事務局案ということで提案をさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>それでは事務局案ということで提案をさせていただければと思います。委員長に上西節雄先生、副委員長に岡本知恵子先生をお願いしたいと考えております。委員の先生方いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>それでは、ここで日程に従いまして、上西委員長、岡本副委員長ご挨拶をよろしくお願ひいたします。</p>
上西委員長	<p>失礼いたします。あまりやりつけてない役柄を引き受けることになりまして、うまく進行などできるかどうか、ちょっと不安なのですが、みなさんのご協力をよろしくお願ひいたします。さきほど自己紹介の時にも言い忘れたのですが、私、備前焼の勉強を40年ぐらい続けてきておりまして、こちらの方へは熊山をはじめ、たぶん数十回どころか、たぶん100回以上お邪魔させてもらっているとかと思ひます。また何年か前には、創学330年の閑谷学校を、青少年教育センターへ4年間勤務させてもらひまして、茶会とか、ライトアップとかいろんなことをさせてもらった思い出を持っております。備前市の方から頼まれると、否応なく引き受けざるを得ないということもあって、この委員にならせていただひてお願ひしております。今後ともよろしくお願ひいたします。</p>
岡本副委員長	<p>失礼します。もう市民代表というだけで困っておりましたのに、副委員長となると荷が重い気がして、もうとまどっておるところです。力不足で十分なことはできませんが、皆さんに協力していただひて、努めていこうかなと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それではこれより報告協議に入りますが、ここより上西委員長の進行でよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
上西委員長	<p>座って進行をやらさせていただきます。2番の報告協議のことではありますが、その(1)備前市歴史文化基本構想策定について、事務局の方から発表をお願いいたします。</p>
事務局	<p>失礼いたします。座って説明をさせていただきたいと思ひます。それでは備前市歴史文化基本構想につきまして、概要の説明、構想策定方針、それからスケジュール等につきまして概略を説明させていただきたいと思ひます。資料の方ですが、3頁、4頁、そしてカラーの頁ですが、5頁、6頁、この順番で説明をさせていただきた</p>

と思います。まず、3頁でございます、備前市歴史文化基本構想であります、その目的ですがちょっと読み上げますと、「備前市内の文化財を総合的に把握し、周辺の自然環境なども含め総合的に保存活用していくための基本的な考え方」これを策定することを目的としております。そのベースにありますのは「地域のアイデンティティの確保やそのきずなの維持、人々の生活の中での文化財の保存やその根底にある知と技の継承がこの構想理念ということになっております。で、具体的に何をするかということなのですが、まず、実施内容①であります、市民・住民などの参加を得ながら、長期的な視野で策定する文化財を自然など周辺環境や文化施設も含めて総合的に保存・活用するための構想を考えます。そのために今日このような策定委員会や作業部会などを含めて、年3回程度実施することを計画しております。そしてその策定委員会なのですが、実際に街へでまして、街を歩きながらワークショップなどで、地域の資産を見ながら、策定していこうという計画を持っております。

それから②になりますが、基本構想の策定とともに、教育委員会では下に掲げるような事業を実施していこうと考えております。地域にあります有形・無形の文化財の調査、関連する有形・無形の文化財を一体として保存・活用していきます、文化財の周辺環境の保護・整備、文化財を保存・活用するための体制整備、かなり漠然とした内容なのですが、では具体的にどうするかということなのですが、(3)をご覧ください。23年度は基本構想策定委員会を設置し、策定委員会を開催するとともに、ワークショップを行います。それから新聞等でご存じかもしれませんが、備前市内にありますさまざまな文化財の調査を行おうとしておまして、現在仏像の調査、現在こういったものの調査をおこなっております。それから24年度になりますが、24年度は基本構想の策定を行いまして、合わせて仏像調査でありますとか、古文書調査、そして24年度に計画しております石造美術の調査、そうした調査のとりまとめを行う、いう予定を考えております。25年度につきましては、実際に基本構想を策定した次の年度になりますので、具体的に保存活用計画を策定したり、その構想に基づく取組を実施するという計画をもっております。26年度以降につきましては、定期的な評価と見直しを行う予定としております。また(4)であります、平成23年度共同提案書作成を目途に取組む「閑谷学校世界遺産登録推進事業」とも調整を図りながら実施するという計画をたてております。資料を一枚おはぐりください。

4頁になります。では23年度どういうことをするかということになるのですが、平成23年7月24日、本日ですが、第1回の全体会議ということで、この後「焼き物のまちを歩く」ということでワークショップをおこないます。それから、これもあくまでも予定で、委員会の中で、こういう方向がいい、いや、ここを歩いた方がいい、そういうご意見をいただきながら、作業を進めていくのですが、事務局案ということでださせていただいております。10月ごろに作業部会を行いまして、閑谷学校のある里を歩く、12月ごろに日本の近代化を支えた耐火煉瓦の街を歩く、2月ごろに近代漁業に大きな役割を果たした港町を歩く、ワークショップということで、この2月のときに全体会議を計画しております。それから24年の3月ですが、中間報告、概要を作成する計画を持っております。それから24年度以降については、まだ前半部分しか予定を立てておりませんが、第4回の策定委員会としまして、

<p>上西委員長</p>	<p>全体会議で、中世山岳仏教の栄華を偲ぶ、ふるさと村を歩くということで吉永地域を歩こうと計画しております。その後、4月以降も2から3回、作業部会を含む策定委員会を計画しております。以上が事業計画案ならびにスケジュール等でありませう。</p> <p>それから続けて説明をさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>お願いします。</p> <p>5頁、6頁の資料をご覧ください。さきほど次長のあいさつにもありましたように、「備前市歴史文化基本構想」と言いますと、非常に堅苦しくて小難しいイメージがあるんですが、そこにイメージ図を持ってきております。これは文化庁がモデルパターンとして提示したのですが、ちょっと簡単に説明をさせていただきます。5頁をご覧ください。この歴史文化基本構想なんですが、決まったパターンがあるわけではなくて、それぞれの地域地域で、それぞれの資産を活かした考え方をしているということで、三つのパターンを示しているのですが、まず、一つ目。史跡を核として関連する文化財を一体として保護しようと、国指定史跡とその周辺にある寺社を一体として保護し、その背景にある山なみを保護する。こういった考え方もできるんじゃないか。2番目として、例えば、まつりの行われるまちなみと関連する文化財を一体として保護する例、重要無形民俗文化財であるまつりを保護するとともに、関連する社寺と山車が巡行する道筋のまちなみを保護するというので、巡行経路とその文化財を合わせて保護していこうという考え方、それから三番目です。今度は重要伝統的建造物群、例えば倉敷、成羽ですが、岡山でいえば、そういったものを核としてその周辺、関連する文化財を一体として保護する例がございます。こういった三つのパターンを文化庁は示しております。ですからこれはあくまでパターンでありまして、それぞれの地域で考えてください、ということがあります。</p> <p>6頁目をご覧ください。これもひとつのモデルパターンになるのですが、例えば海浜の集落に伝わる伝統的習俗、そして昔ながらの港、それから輸送に用いられた歴史街道、下に行きまして郷土の民俗資料、歴史民俗博物館、こういったものを一つの地域として関連文化財群Ⅰとしてまとめることもできるんじゃないか、それから二つ目の地域といたしましては、例えば伝統的なまちなみを核として、村落の中の寺社、まちなみを示す古地図、伝統的なまちなみで行うまつり、こういったものをまとめて一つの地域としてみることもできるんじゃないかと、こういった事例もあります。このようなパターンを文化庁が示しております。従いまして、説明が漠然として申し訳ないのですが、それぞれの地域で資産をしっかりと見て、それぞれのストーリーを紡いでいくというのが基本的なところになるかと思ひます。以上、説明が漠然として申し訳ないのですが、よろしくご検討のほどできればと思ひます。</p>
<p>上西委員長</p>	<p>ありがとうございました。ご本人が言ってるように、まだ漠然とした、かたちになってない計画ではあります。委員の先生方で、なにかこう備前市の歴史や文化の基本構想を策定する委員会で、なにか備前市ではこれが一押しだとか、というようなことでも結構ですので、おひとかたずつ発表いただけたらと思ひますが、倉地</p>

<p>倉地委員</p>	<p>先生、いかがでしょうか。</p> <p>漠として、まだよくわからないところもあるので、少しいろんなご意見を教えていただければと思うんですが、いま話したのでいうと、五つぐらい地区というのがあって、それをあるストーリーでもって意味づけていくという、でそこの中にその景観を含めた文化財を、例えば有形無形のものを含めて、ひとつの地区ごとにストーリーを作っていくというのは、それはある程度それなりにできるかもしれないのですが、そういうものを全体として、たとえば備前市とかというようにすることで、ある特徴づけだとか、それから意味づけだとか、ストーリーづくりとか、そういったことはあんまり考えなくてもいいものなのではないでしょうか。こういう構想というものの時に。備前市には、こういうところと、こういうところと、こういうものがありますよ、それでいいのでしょうか。そういうものなのではないでしょうか、このもともとの考え方なのですかね。そこのところがわからなかったもので、少し教えていただけると助かると思います。</p>
<p>上西委員長</p>	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>失礼いたします。倉地先生からの質問なのですが、この構想の幹に関わることになると思うのですが、えー、考え方としまして、ある程度備前市を特徴づけるような地域を抽出するという作業が前提になってくるかもしれないのですが、そのために街歩きをして地域を特徴づけるものを探して、考えていきましょうというふうに考えておきまして、ある程度事務局の方で4頁にありますようにスケジュールを考えておりますが、非常に難しい質問でどうお答えしていいかわからないんですが、考え方として、ある程度資産、要するに街づくりのための資産がまとまってある地域を抽出して、そこから備前市が多分特徴づけられるのではないかと考えておきまして、その地域がワークショップであればというふうに考えております。ちょっと答えになっているかどうかかわからないんですが、はい。</p>
<p>上西委員長</p>	<p>そうですね、まだまだこれからことだろうと思うのですが、まあ、それでも4頁で示していただいているような23年度の計画をみましても、まずは焼き物のまちということで備前焼の里、それから世界遺産を狙っている閑谷学校、それから耐火煉瓦の浦伊部から片上にかけての地区、それから近代漁業に大きな役割を果たした港まち、日生、そのほか日生などでは海に関わる民俗行事や民俗文化財のようなものがあるだろうと思うし、まいろいろ考えればあると思います、少し西の方に行くと有名な古墳や、古墳からの遺物もあるわけで、いろんな切り口はあろうかと思うのですが、次からの作業部会にはそういうものも少しまとめるというか、少し具体化したかたちで話し合えたらなと思っております。岩崎さんどうでしょうか。質問でもよろしいし、ご意見でもよろしいし。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>まだ大枠の話ですので、具体的な質問をさせていただける状況にもないですが、倉地先生のお話に関連して言えばですね、ここのワークショップでまわる地域、個々の備前市の中でのまとまりというのがあると思うのですが、その一方で備前市</p>

	<p>も合併した市ですし、新たにそういう地域の個々の魅力をこの中で再発見していきながら、それをまた市全体としてですね、まとまった形での見方とか、そういったものを、この基本構想の中で、そこまで意識してできれば、よりよい形になるのかなと思っています。それはまた、具体的ないやりながら考えていかしていけたらと思います。</p>
上西委員長	<p>ありがとうございました。狩山さんいかがでしょうか。</p>
狩山委員	<p>文化庁から示されてます資料に書いてあるのですけれども、市役所の関連部署との連携とか、地域住民のみなさんとの連携とか書かれていると思うんですけど、この委員会の方は、市役所の例えば商工関係であるとか、秘書広報の担当であるとか、そういったところといつの段階か関わりあっていけるのかとか、そういうこと少しお話ありましたけれど、地域住民の方々と、パブリックコメントのお話もあったとは思いますが、それが委員会とどういった形でかわっていけるのか、そのあたりを教えていただけたらありがたいと思います。</p>
上西委員長	<p>事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>まだ具体的にはスケジュールを立てていませんが、本日役所の中での関連する部署、オブザーバーで、商工観光課長、まちづくり課の課長、それから環境課課長、それから農林水産課長、それから都市整備課長は所要で参っておりますけれども、5課の課長がきております。それから関連する部署ということで、岡山県も関係してまいりますので、文化財課長にも案内させていただいておりますけれども、今日代理の方が来られるということで、まだまいられてないようですが、オブザーバーというかたちでこの会の内容を聞いていただいて、ご意見等をいただければということで、こういう場を設定させていただいております。それから本日最初に紹介をさせていただければよかったのですが、文化財保護審議会の委員の先生方、それから備前市内に文化施設があるのですが、その文化施設についていろいろご協議いただく歴史資料調査員の先生方、それから本日備前商工会議所会頭、本日欠席ですけど備前焼陶友会理事長、地元作家さんの組合なのですが、それから地元の伊部自治会協議会の会長さん、それから文化協会の会長、それから地元の郷土史の研究会の会長さん、それからボランティアガイド協会の会長さん、そういった関連の部署にもオブザーバーとして会を見守っていただきたいということで、この場に来ていただいております。それから本日、伊部区で開催するということで、伊部区の町内会の回覧をですね、2、3週間ほど前に全戸まわるように、回覧をさせていただいております。そういうかたちで会を進めさせていただいて、たとえば次は10月ごろ閑谷学校を回る予定になっておりますが、閑谷学校を回る際には、例えば、伊里区の方々へ回覧をしたり、伊里区の方々にきていただいたりとか、いうふうなかたちで進めさせていただければと思います。回答になってないかもしれませんが申し訳ありません。</p>
狩山委員	<p>ありがとうございました。力が入っていることがよくわかりました。ぜひよろしく</p>

	<p>お願いしたいと思います。もう1点だけお願いしたいと思います。この委員会の作業の方で、全体会議、作業部会、ワークショップとあるのですが、これらをどういうふうな位置づけにされているのか、簡単で結構なので教えていただけませんか。</p>
事務局	<p>失礼します。まず作業部会なのですが、作業部会につきましては個々の案件につきまして検討していこうとかたちを思っております。例えば個々の案件と言いますが、例えば文化施設のあり方でありますとか、それから例えば地域の無形文化財のあり方でありますとか、それぞれテーマを絞って作業部会を行えたらと考えております。それからワークショップにつきましては、これは本日2時から予定しておりますが、地域へ出て行って、地域の資産を実際に委員の先生方と一緒に見て、その地域を特徴づけるものを抽出して策定委員会の方へ持っていこうと考えております。したがって全体会議、年に2回予定しております、その中で作業部会の結果、ワークショップの結果を全体会議に反映させるというふうに考えております。ですから、3段階、そういったかたちですすめさせていただけるかと考えております。</p>
狩山委員	<p>どうもありがとうございました。</p>
上西委員長	<p>岡本先生、何かありましたら。</p>
岡本副委員長	<p>倉地委員、岩崎委員の言われた件について、私の気持ちなのですが、市町村合併があって、3つの日生町、吉永町、備前市が備前市になったのですが、まだまだ自分の中にもその一体感というか、備前市民になったという気持ちが、十分もててないような気がします。今それぞれ日生には日生の誇りとなるもの、それから吉永には吉永の誇りとなるもの、旧備前市には旧備前市の誇りになるものが、さきほどまとまりとして出ておりましたが、そういうものが先ほどの話だったように、少しでもつながっていくことで備前市としての一つの気持ちのまとまりという面でも生きていくのじゃないかと、そういうふうなかたちで、できて行ったらうれしいなという気落ちです。それからちょっと質問なのですが、わかるようなよくわからないような、一番大事なところで、もう少し具体的にお話が聞けるとうれしいのが、3頁の目的のところ。地域のアイデンティティの確保及びそのきずなの維持、および人々の生活の中での文化財の保存及びその根底にある知と技の継承がその理念、この持っていく方向の理念というところなのですが、どういうことか、イメージというか、そのあたりもう少し、具体的にというか、お話しくださるとイメージがしやすくなるのですが。</p>
上西委員長	<p>難しいですか、お答えをお願いします。</p>
事務局	<p>非常に難しい質問で、答えが難しんですけど、例えば東北の大震災の後ですが、その後に地域で集まるときに、確か民俗芸能の復活というか、そのお祭りをするのでお寺に集まって、神社ですか、そこで復興に向けて集まりをしたというようなこ</p>

	<p>とをニュースで聞いたというようなことがありまして、イメージとすればまさにそういうところへ人が集まって絆を確かめ合うという、たとえば鎮守の森があって、そこに神社があって、そこで民俗芸能が行われていて、そこへ人が集まるとかいうイメージとかですね、非常に漠然として答えづらいのですけれど、今まで文化財と言いますと、どこどこ指定でこんなことしちゃいけない、あんなことしちゃいけないという逆にマイナスのイメージでとらえられていたと思うのですけれど、そうでなくて、そこに神社があったらそこに皆が集まって、日常の中で、そういうものが普通にあるというか、だから大上段に構えるのではなくて、人々の暮らしの中に当たり前のようにある、というようなイメージを持っているのです。ですから行政がここまでしなくてもということはあると思うのですけれど、それを地域の皆さんが再認識することによって、そこでまた新たな発見があって、絆が生まれるというイメージを持っているのです。ですから行政側から、押し付けのようなかたちであんなものがあります、こんなものがありますと、押し付けるのではなくて、みんなで見つけて、要するに、あの。例えば市外から来たお客さんに自分の街をどういうふうに説明しますかと、例えば備前市といえば備前焼とか閑谷学校とかあるのですけれど、それを自分の言葉で市外の人に説明できるという、だから地域の宝物をしっかり見て、理解して市外からきたひとに説明できるというイメージを持っているのですけれど、ちょっと私ばかりしゃべってもあれなのですが、歴史文化基本構想と言えば大上段に振りかぶったようなイメージなのですけれど、もっと日常的なところで、皆で考えませんかというところなのです。わかったような、わからないような説明で申し訳ありません。</p>
上西委員長	岡本委員、よろしいでしょうか。
岡本副委員長	文化財になったら特別なものではなくて、それが生活の中に生かされているとか、生きているということであったり、それから誇りうるもの、市民として誇りになるようなものする、ことであったり・・・。
事務局	そういうことです。
岡本副委員長	それで皆が集まって。
事務局	はい。
岡本副委員長	ありがとうございました。
上西委員長	さきほどの町村合併の件、私の個人的なことをひとつ言わせてもらいますと、私、今度合併になった岡山市の灘崎町、それまでは児島郡の灘崎町というところに住んでおりますが、そこで文化財保護員も長い事努めておりましたが、合併すると同時にその委員の職務を解かれ、それから町指定の文化財も全部岡山市指定にしてやるよという約束だったのですが、かなり下の方のものは排除されたりして、それまで地域で文化財を守ったり調べたりするグループがいたのですが、だんだん情熱が失

	<p>われるというか、岡山市の文化財保護委員もあまり灘崎町には目を向けていないのじゃないかと、いうふうな印象さえ持っております。その点では、備前市は吉永地区、あるいは日生地区に以前にもまして目配りをすべきだと思います。合併して人件費を節約するだけでは、地域を愛するような文化財を保護する活動はだんだん衰退してくのではないかと思うので、その辺は今回の構想の策定では同じでことではないかもしれませんが、是非よろしくお願いたします。</p> <p>今日は会場にもオブザーバーの方、それから役所関係の方もおられるようですが、ここで是非この策定委員会に言っておきたいことがありましたら挙手をお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。あまり時間も無くなってきておりますので、是非ここで言っておきたいことなどがありましたら、ご質問でもご要望でも結構ですから、いかがでしょうか。ございませんでしょうか。</p>
<p>会場</p>	<p>とくになし。</p>
<p>上西委員長</p>	<p>今日は第1回目の委員会ということで、そんなに具体的な話がでたわけではないですが、次の回までには是非、もうちょっとこうレジュメのほうも具体的な内容を持ってこの会を開けたらと思うのですが、(2)番のその他、何かありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局の方からは特に用意はさせていただいておりません。委員の先生方の中で、何かありましたら。</p>
<p>上西委員長</p>	<p>いかがですか。はい、狩山さんよろしくお願いたします。</p>
<p>狩山委員</p>	<p>きょう午前中ここへ来る前に、ざっと備前市にどれくらい植物が生えているものか調べてみたのですが、倉敷市立自然史博物館に収蔵されている標本の中から、備前市、もちろん日生町、吉永町を含めてですが、ざっと種類数えましたら1,557種類あります。で、今も岡山市が面積も広いですし、環境もいろいろ持っていますんで、岡山市が岡山県内ではいちばん種類数が多い市町村なのですけれど、続いて倉敷市、もしかしたら、備前市あたりが次に岡山県内で植物数の多い市町村ではないかと感じています。さらにその中で100種類ほどが、絶滅が心配される植物になっている。具体的に102種類なのですけれど、岡山県版のレッドデータブックというのが2009年に発行されていて、その中で取り上げられているもの、それから環境省がレッドリストを発表して、その中で取り上げられているもの、それらを合わせると岡山県内で絶滅が心配される植物として名前が挙がっているものは700種類ほどです。岡山県の絶滅危惧植物のうち、7分の1が備前市で見ついているということになります。まだ具体的に種類の中まで見ていないんですけど、印象として備前市の海岸に生えている植物にかなり貴重なものが多いのではなかろうか、というふうな印象を持っています。これも2年間ありますし、その中にもう少しこういうものという具体的なものがリストアップできたらいいなと思っています。以上です。</p>

上西委員長	<p>ありがとうございました。一応予定しておる時間がまいったわけなのですが、2番の報告・協議事項はこれで閉じさしてもらいます。あと事務局の方からよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>上西委員長、司会ありがとうございました。これからワークショップに移るのですが、閉会行事につきましては、ここで先にさせていただいて、ワークショップにまいりたいと思います。閉会行事に移ります前に、備前商工会議所の吉村会頭がこちらの会場にお越しですので、ちょっとコマースシャルをしていただければということで、お時間をいただければと思います。</p>
吉村会頭	<p>コマースシャルではありません。私、実は、この会頭をさせていただいていますが、同時に観光協会の会長と、今年度備前ロータリークラブの会長、閑谷学校の世界遺産登録というのは、7、8年前から関心がありまして、今年度備前ロータリークラブで、伊勢崎淳先生を委員長に、特別委員として、少しでも、商工会議所と観光協会とご一緒になって進めて行こうと、もちろん水戸とか、足利とか、云々というのは行政単位でしょうけど、まあ、地元で少しでも民間人としてこれをやっていこうと、たまたまTシャツを作ったりまして、寸法は皆様方わかりませんので、すこしだけもってきておりますので、もしよければ、胸に大きく、市役所のところにかけております、あれ（推進看板）を写真で撮ったようなものを前面にしておりまして、いろんな方にお配りしておりますので、もしよろしければ、お持ち帰りいただきたいと思ひます。以上であります。</p> <p>是非この構想策定委員会がひとつの大きな成果を出していただきたいと、これは商工会議所の私共としましても、やはり市の発展なり、商工業の発展は、その根本にやはり地域の教育・文化という根があつてこそはじめて息ができるものだ、そういう絶好のチャンスをお教育委員会が持たれておられるというふうに理解するのです。五人の先生方のご健闘をお祈りするわけです。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。さきほどコマースシャルと申し上げて大変失礼しました。応援をさせていただいているということですね。お帰りの時に、受付の横に、サイズは5つですかね、用意をさせていただいているということなので、お受け取りの上、ワークショップに参加いただければと思ひます。</p> <p>それから教育委員会から、これも世界遺産がらみですが、宣伝、いや事業の広報をさせていただければと思ひます。</p>
事務局	<p>失礼いたします。宣伝です。皆さんのお手元のほうに『なんで「旧閑谷学校」が世界遺産なの？』出前講座と書いている資料を一部つけさせてもらっています。ここにいるメンバーは世界遺産登録推進室のメンバーですので、この中から誰かがですね、依頼があれば、出前講座どこへでも行きます、ご自宅でも、ちかくの集会所でも、関心のある方は教育委員会までご連絡ください。資料の方はこういうふうに教育委員会で作っていますので、持って説明に行かせていただきますのでよろしくお願ひいたします。失礼しました。</p>

事務局	<p>それでは、これもちまして第一回備前市歴史文化基本構想策定委員会を閉会させていただきます。閉会にあたりまして上西委員長、あいさつの方をよろしくをお願いします。</p>
上西委員長	<p>まだこの後、ワークショップがあるわけですが、皆様お疲れ様でした。みなさん、思いはいろいろあるの难道うかなと思います。私自身も備前市内の遺跡や産業、いろんなことに興味がありまして、もうちょっと事務局の方も次からは、具体的な地名や人名、言葉をいれた具体的な資料も作ってもらいたいなというふうに思います。その中から役所の方、いろんな市の学芸員の方、市民の方、より自分の故郷を誇りに思える、そういう策定ができていったらいいなと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしくをお願いします。本日はどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それではこれよりワークショップにまいりたいと思うのですが、若干ワークショップに移ります前に説明をさせていただければと思います。本日のワークショップ、16時半までと暑い中での長丁場になりますので、水分補給等こまめをお願いいたします。また気分が悪くなった場合は、最寄りの職員、名札を付けております、最寄りの職員までご連絡ください。無理をしないようにくれぐれもよろしくをお願いいたします。それから本日のワークショップなのですが、ひとつのパターンがあってやるものではありませんで、試行錯誤しながら進めていくので、段取りが悪い点等、不都合をおかけするかもしれませんが、なにとぞよろしくをお願いします。それから、お帰りまでになんですが、アンケートを入れております、スタッフの方へお渡しいただければありがたいです。</p> <p>それでは具体的にワークショップについて説明をさせていただきたいと思います。入口のところに女性がいますが、そちらで、このバインダーとマップ(別紙)、筆記用具を受け取っていただければと思います。このマップなのですが、「地域をみつめて、タカラを見つけて、ストーリーをつむぐ」と書いてありまして、ここに地図と番号だけ落としております。で、番号順に、1 から 20 まであるのですが、歩いていきまして、そこでそれぞれの番号のところ、何かを見つけて、左側のところへ書き込んでいただく、というようなことを考えております。それで番号が1 から 20 まであるのですけれど、本日 20 まで行きますと非常に遠くなりますので、本日は1 から 13 までのところを歩こうと思っております。それで実際に、どうしようか、配った後、説明をさせてもらったほうがいいので、ちょっと配らせていただきます。 (配布)</p> <p>これは伊部区の 2500 分の 1 地図を 2 分の 1 に縮小しまして、番号を落としたものです。本日は1 から 13 番で歩いていきたいと思っております。ここには何も書いてありませんで、例えば1 番のところへ行きまして、そこでなにか一番の地点について情報をお持ちの方、例えば何々の窯元であるとか、江戸時代から続く窯元であるとか、そういった情報をお持ちの方、参加者の方、委員の先生方、どなたでも結構ですが、そこで発言をしていただければと思います。その発言を書きとっていただいて、例えば一番の右側のところに「江戸時代から続く窯元」ですと書き込んでいただければと思います。ひとつルールがありまして、スタッフがずっとついて歩いているの</p>

ですけれど、発言する方はこの「タヌキの手」を持って、これをもって発言をしていただきたいのです。ほかの人は、これを持っている人の話を聞いてください。それからもうひとつルールがありまして、ずっと歩いていきまして、番号以外のところでも疑問に思ったこと、ここのこれについて何か聞きたいねというようなことがありましたら、スタッフがもっておりますこの「クエスチオンの棒」をですね、こうかかげて、聞いてみてください、そしたら誰かが答えるというかたちで 13 番まで歩いていきたいと思えます。それから 13 番まで行きましたら、そこで解散というかたちをとりたいと思えます。その際、バインダーですが、申し訳ないのですが、13 番のところではスタッフのほうへお返しいただきたいと思えます。それから最後になりますが、もう一度繰り返しますが、とにかく暑いですので、水分補給等まめにさせていただいて、13 番までいきたいと思えます。これから五分後、下の一階のところに集まっていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。